

高浜3、4号機

「3・11」に提訴正式表明

差し止め原告500人目指す

関西電力高浜原発（高浜町）の周辺住民らが十六日、福井市内で会見し、関電が再稼働を進める同原発3、4号機の運転差し止めを求め、三月十一日に福井地裁に訴えを起すと表明した。五百人規模の原告団を目指し、全国に参加を呼びかける。

提訴は「福井から原発を止める裁判の会」の臨時総会で決めた。代表の住職中尾哲演さん（セシ）小浜市は「福島を絶対にはずさずはならない」と福島第一原発事故から五年となる提訴日に込めた思いを

強調。高浜町の農業東山幸弘さん（六七）は「地元で反対の意思表示をする人が少ないが、何とか原発をなくしたい」と述べた。二基をめぐっては、昨年末の異議審決定で同地裁が再稼働差し止めの仮処分を取り消した。訴訟は異議審

と同じ林潤裁判長らが担当するとみられ、弁護団は「公開の法廷で、面と向かって決定の不当性を訴えた」と意気込む。中尾さんは「科学技術論争に偏らず、一般の人にも分かる訴訟を進めた」と説明。原告が準備書面を書くほか、東京電力福島第一原発周辺での現場検証を求めたり、福島の被災者に証人尋問をしたりして、劇場型の法廷闘争を目指す。

強調。高浜町の農業東山幸弘さん（六七）は「地元で反対の意思表示をする人が少ないが、何とか原発をなくしたい」と述べた。二基をめぐっては、昨年末の異議審決定で同地裁が再稼働差し止めの仮処分を取り消した。訴訟は異議審

提訴へ！ 3、4号機運転差し止め 2016年1月7日 県教育センター



提訴への思いを語る中尾哲演さん（左）と東山幸弘さん（右）＝16日、福井市の県教育センターで

と同じ林潤裁判長らが担当するとみられ、弁護団は「公開の法廷で、面と向かって決定の不当性を訴えた」と意気込む。

中尾さんは「科学技術論争に偏らず、一般の人にも分かる訴訟を進めた」と説明。原告が準備書面を書くほか、東京電力福島第一原発周辺での現場検証を求めたり、福島の被災者に証人尋問をしたりして、劇場型の法廷闘争を目指す。

原告が準備書面を書くほか、東京電力福島第一原発周辺での現場検証を求めたり、福島の被災者に証人尋問をしたりして、劇場型の法廷闘争を目指す。